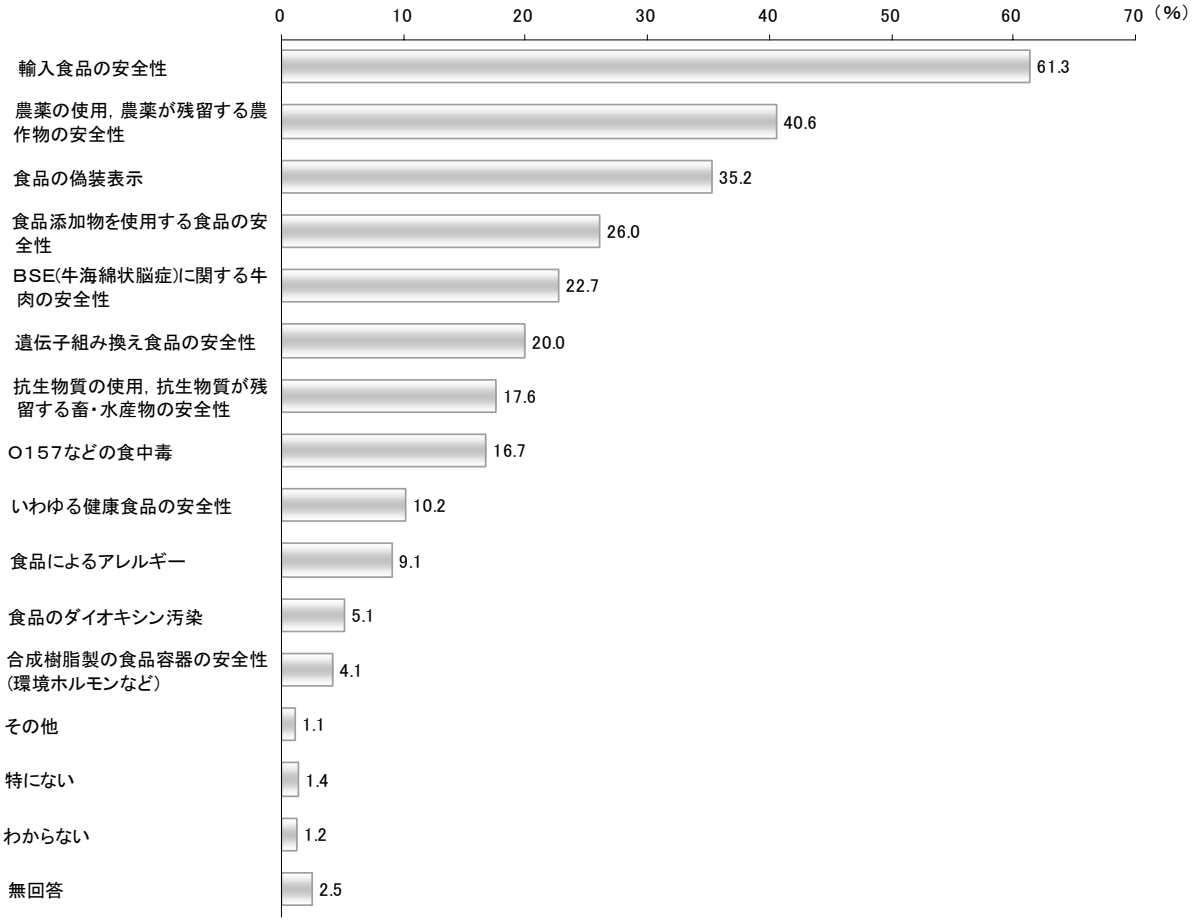
１０．食品の安全確保対策

県では，県民の安全で安心できる食生活の実現と健康の保護に向けて，関係者と連携し食品の安全確保対策に取り組んでいます。

（１）食品に対する不安

- 「輸入食品の安全性」が 61.3%で最も高く，次いで「農薬使用農作物の安全性」，「食品の偽装表示」。

問 27　あなたは，食品についてどんな不安がありますか。主なものを３つ以内で選んでください。
（M．A.）



食品に対する不安について，「輸入食品の安全性」と回答した割合は 61.3%で最も高く，次いで「農薬の使用，農薬が残留する農作物の安全性」（40.6%），「食品の偽装表示」（35.2%）の順となっている。

＜属性による比較＞（次図）

生活圏別

広島生活圏で「輸入食品の安全性」と回答した割合は 62.2%で，他の生活圏より高くなっている。備後生活圏では「ＢＳＥ（牛海綿状脳症）に関する牛肉の安全性」が 26.0%，備北生活圏では「食品添加物を使用する食品の安全性」が 30.5%で，他より高くなっている。

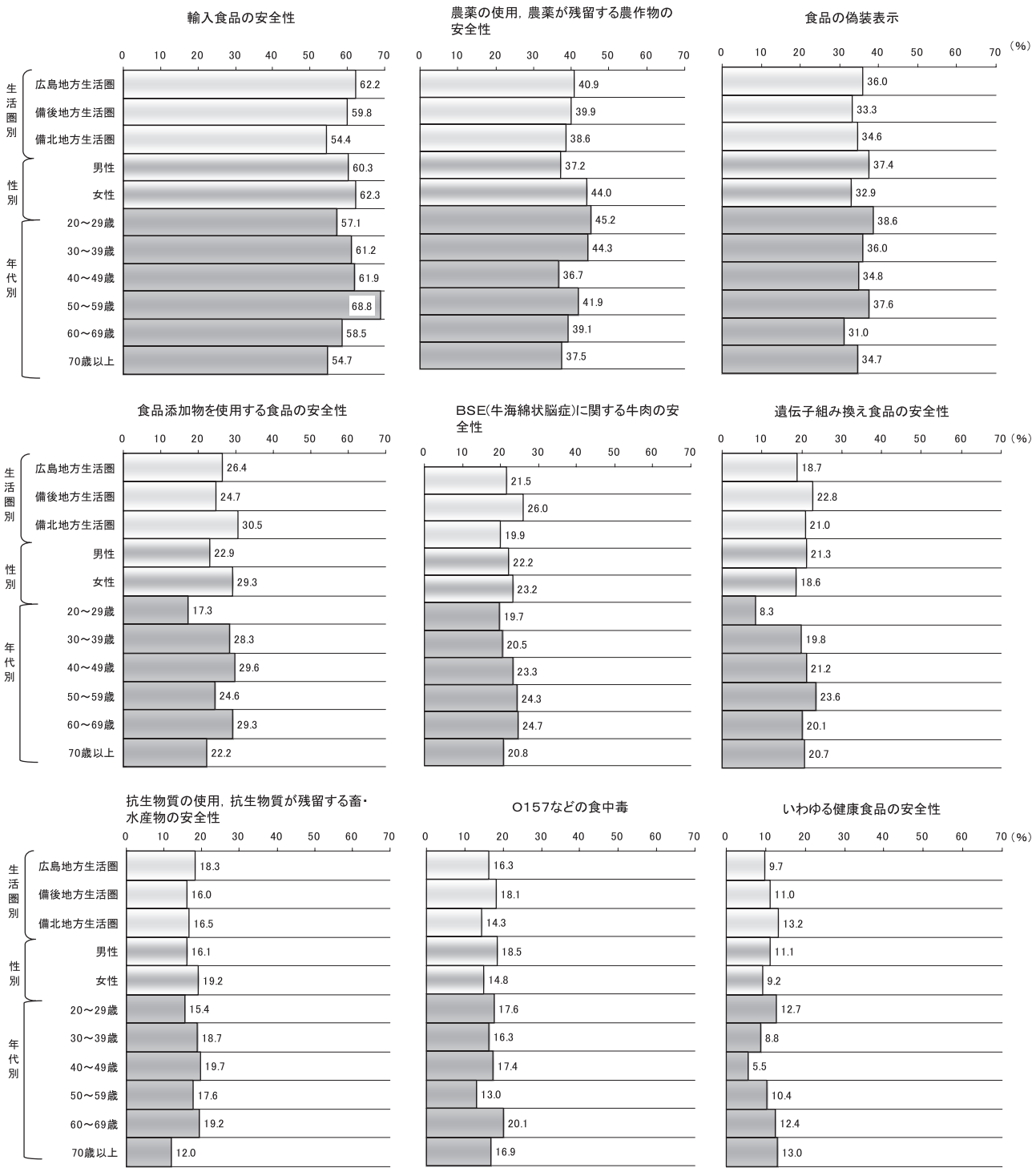
性別

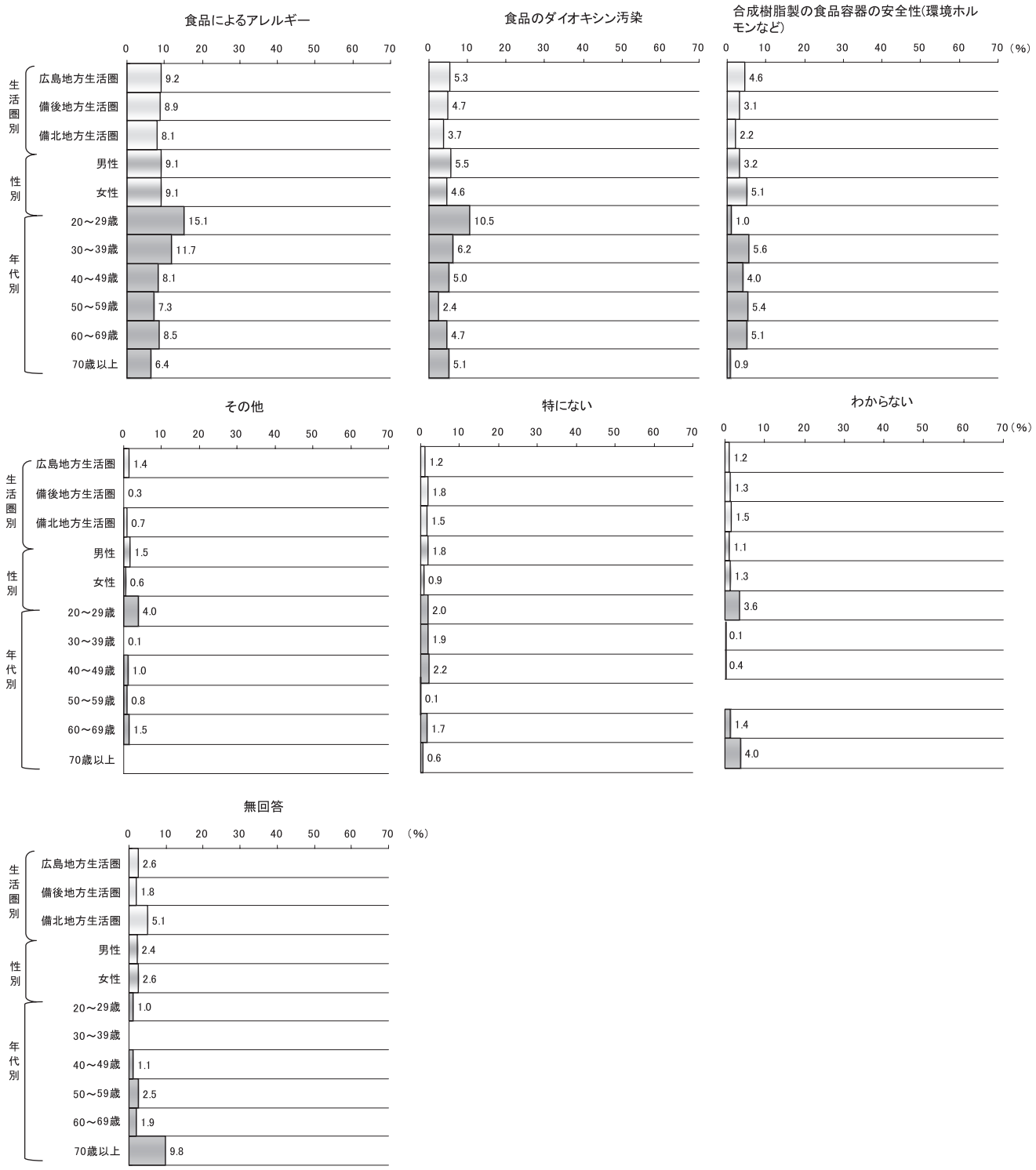
女性で「農薬の使用，農薬が残留する農作物の安全性」と回答した割合は 44.0%，「食品添加物を使用する食品の安全性」は 29.3%で，男性より高くなっている。

年代別

「食品添加物を使用する食品の安全性」,「遺伝子組み換え食品の安全性」において，20 歳代が回答した割合は全ての年代の中で最も低くなっている。その他の項目においては，すべての年代がほぼ同じ傾向となっている。

● 食品に対する不安（生活圏，性，年代別）

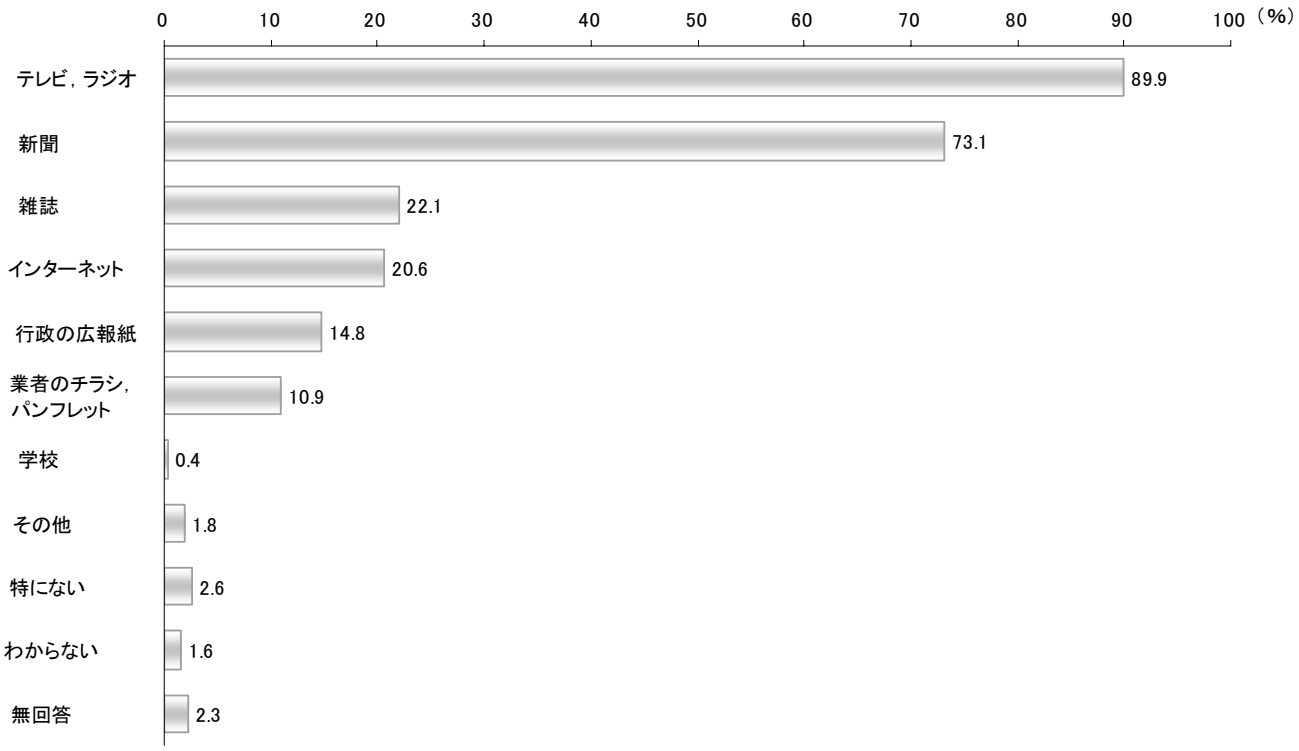



食品によるアレルギー
食品のダイオキシン汚染
合成樹脂製の食品容器の安全性(環境ホルモンなど)
その他
特にない
わからない
無回答
(%)
生活圏別
性別
年代別
広島地方生活圏
備後地方生活圏
備北地方生活圏
男性
女性
20～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～69歳
70歳以上
0 10 20 30 40 50 60 70
9.2 8.9 8.1 9.1 9.1 15.1 11.7 8.1 7.3 8.5 6.4
5.3 4.7 3.7 5.5 4.6 10.5 6.2 5.0 2.4 4.7 5.1
4.6 3.1 2.2 3.2 5.1 1.0 5.6 4.0 5.4 5.1 0.9
1.4 0.3 0.7 1.5 0.6 4.0 0.1 1.0 0.8 1.5
1.2 1.8 1.5 1.8 0.9 2.0 1.9 2.2 0.1 1.7 0.6
1.2 1.3 1.5 1.1 1.3 3.6 0.1 0.4 1.4 4.0
2.6 1.8 5.1 2.4 2.6 1.0 1.1 2.5 1.9 9.8

（２）食品の安全・安心に関する情報の入手先

- 「テレビ，ラジオ」が 89.9%，「新聞」が 73.1%。

問28　食品の安全･安心に関する情報をどこから入手しますか｡主なものを３つ以内で選んでください。
（M．A.）



食品の安全・安心に関する情報の入手先について，「テレビ，ラジオ」と回答した割合は 89.9%で最も高く，次いで「新聞」（73.1%）となっている。

＜属性による比較＞（次図）

生活圏別

広島生活圏で「インターネット」と回答した割合は 22.9%で，他の生活圏より高くなっている。備北生活圏では「行政の広報紙」が 19.9%で，他より高くなっている。

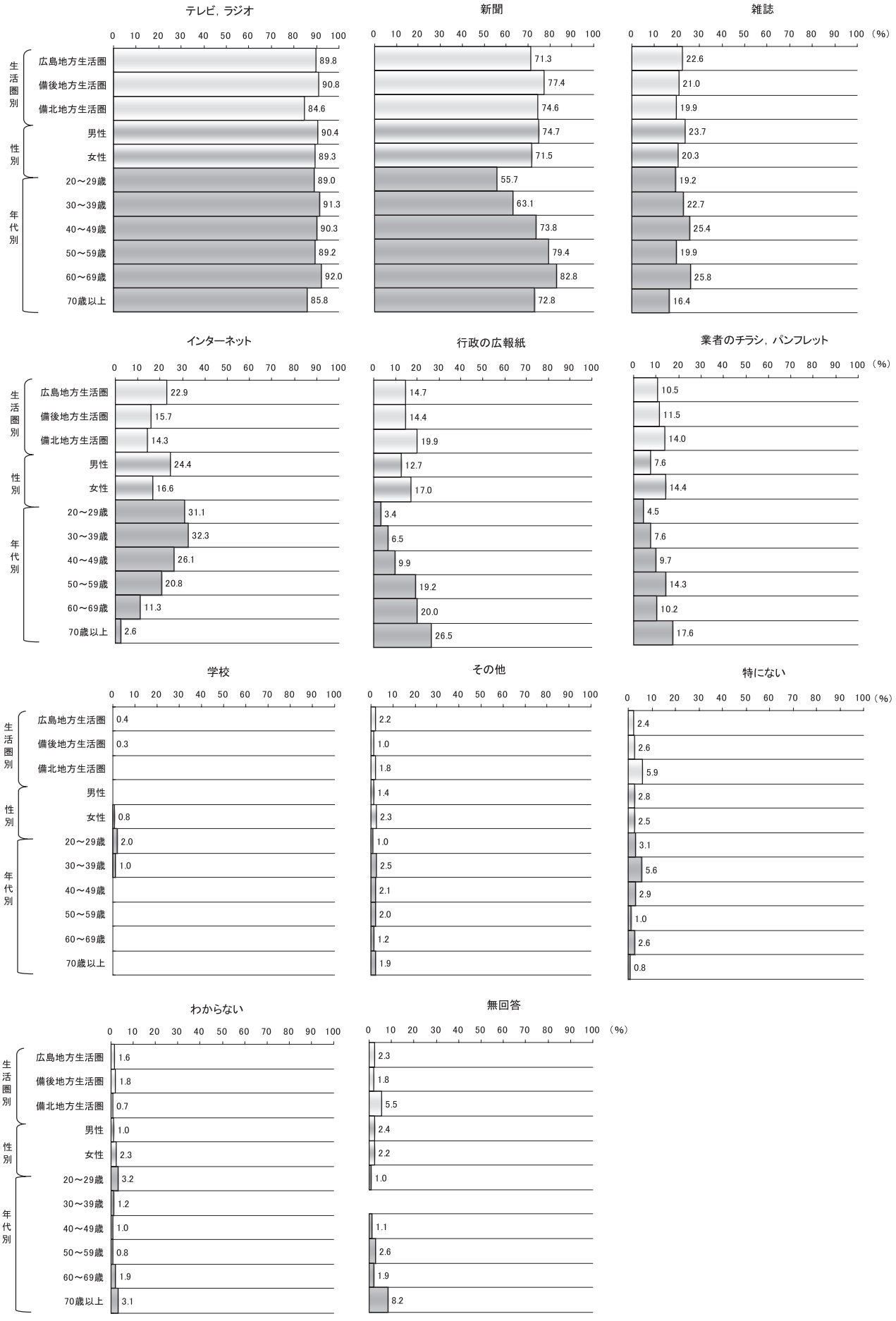
性別

男性で「インターネット」と回答した割合は 24.4%で，女性より 7.8 ポイント高くなっている。

年代別

「新聞」と回答した割合は，40 歳代以上の年代が 70%を超え，他の年代より高くなっている。「インターネット」は，20～30 歳代が 30%を超え他より高く，以降は年代の上昇に伴い低くなっている。

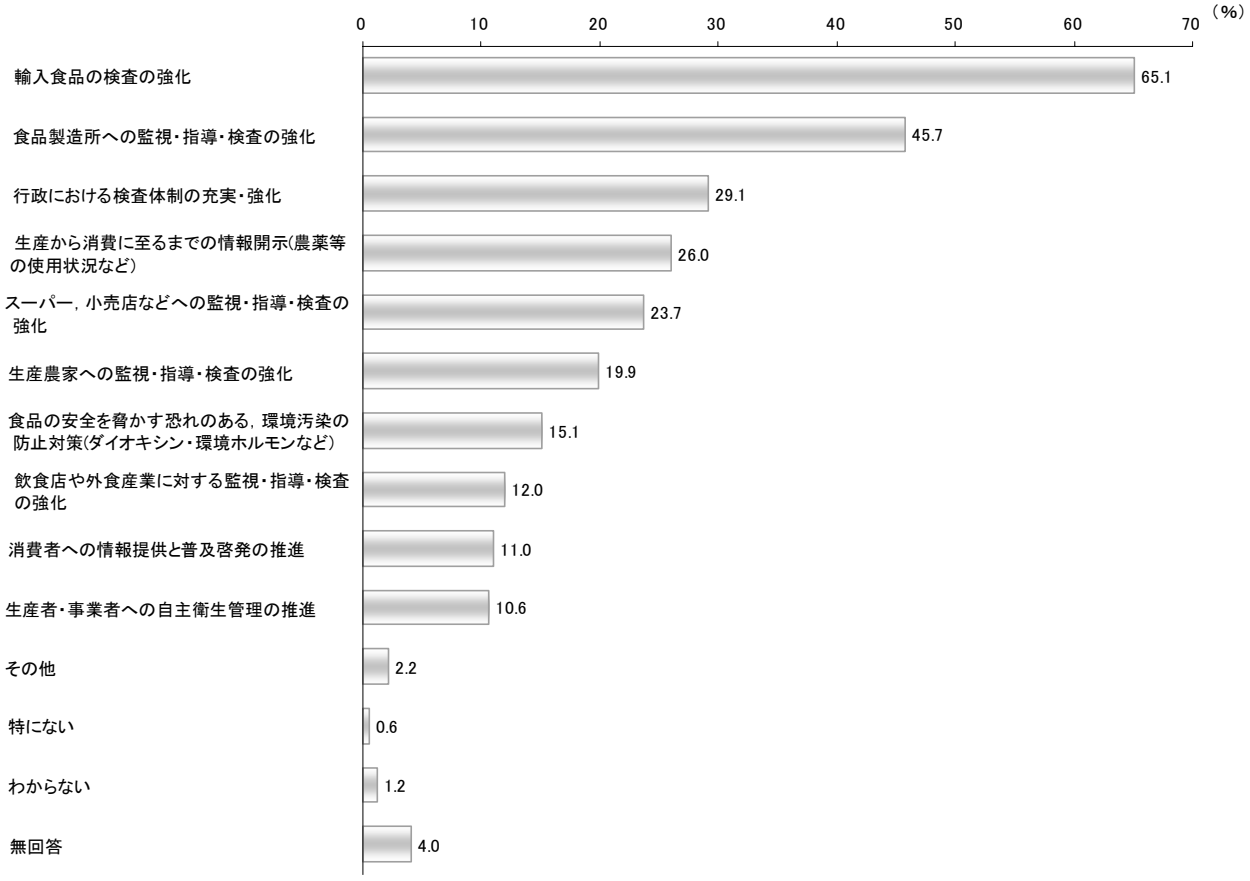
● 食品の安全・安心に関する情報の入手先（生活圏，性，年代別）



（3）食品の安全・安心の確保のために必要な取組み

● 「輸入食品の検査強化」が 65.1%，「食品製造所への監視・指導・検査の強化」が 45.7%

問 29　あなたは，食品の安全・安心を確保するため，行政機関は何を行うべきと思いますか。主なものを３つ以内で選んでください。（M．A.）



食品の安全・安心の確保のために必要な取組みについて，「輸入食品の検査の強化」と回答した割合は 65.1%で最も高く，次いで「食品製造所への監視・指導・検査の強化」（45.7%）となっている。

＜属性による比較＞（次図）

生活圏別

広島生活圏で「生産から消費に至るまでの情報開示（農薬等の使用状況など）」と回答した割合は 29.3%で，他の生活圏より高くなっている。備後生活圏では「生産農家への監視・指導・検査の強化」が 23.6%で他より高くなっている。

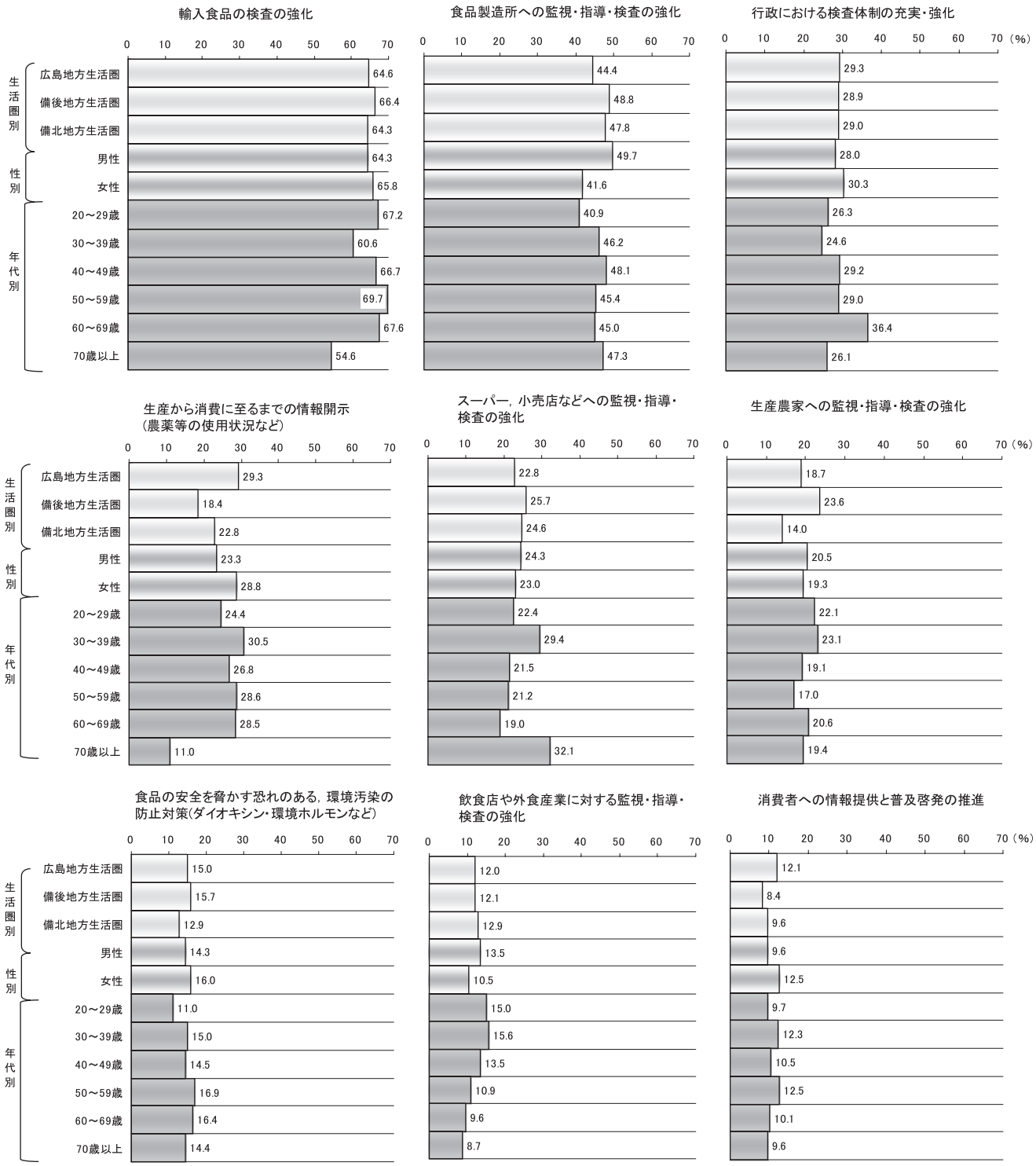
性別

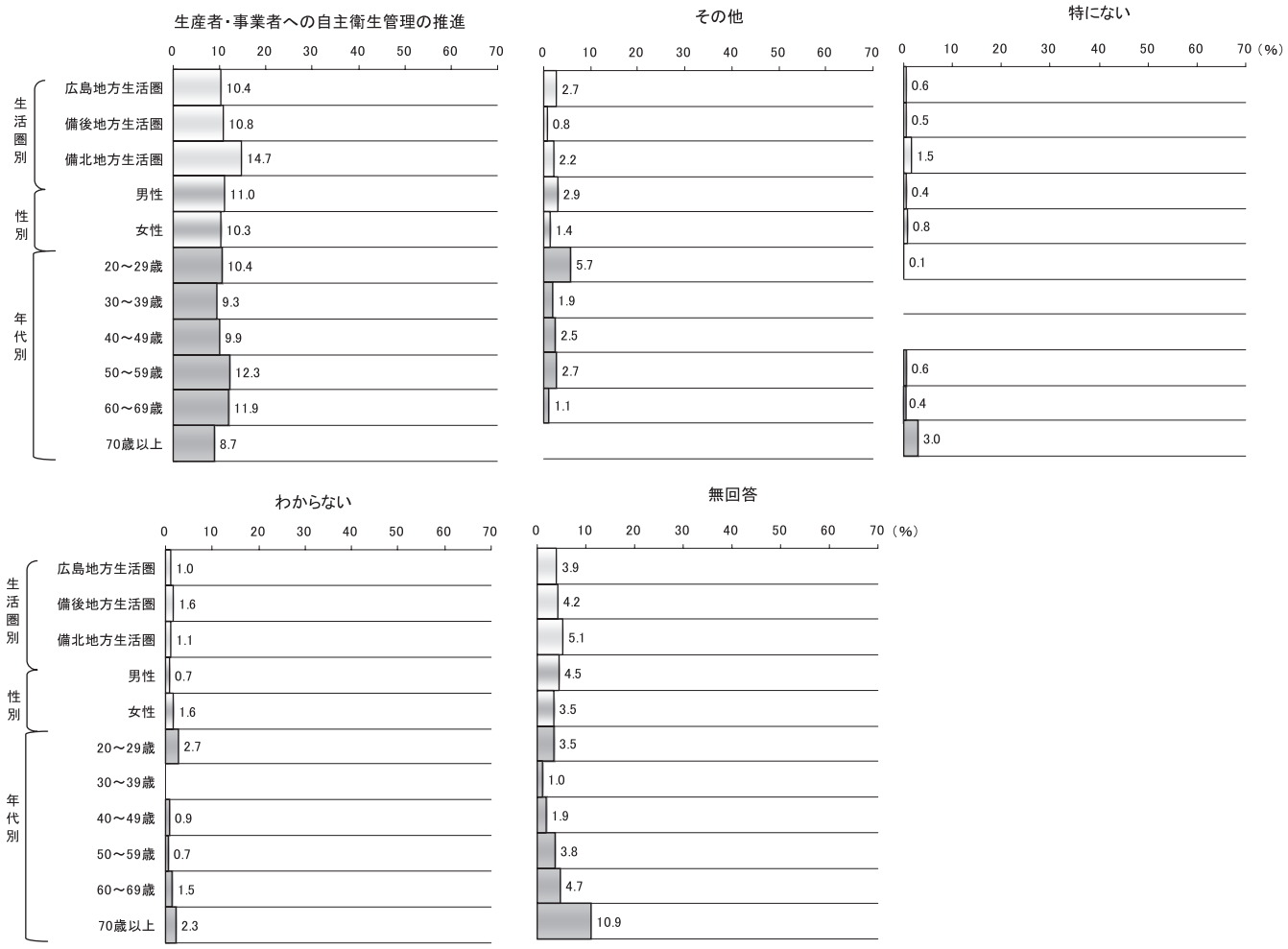
男性で「食品製造所への監視・指導・検査の強化」と回答した割合は 49.7%で，女性より 8.1 ポイント高くなっている。

年代別

「輸入食品の検査の強化」と回答した割合は，20～60 歳代が 60%を超えているが，70 歳以上は 54.6%で，すべての年代の中で最も低くなっている。「スーパー，小売店などへの監視・指導・検査の強化」は，70 歳以上が 32.1%で，最も高くなっている。

● 食品の安全・安心の確保のために必要な取組み（生活圏，性，年代別）




生産者・事業者への自主衛生管理の推進
その他
特にない
わからない
無回答
0 10 20 30 40 50 60 70 (%)
生活圏別
性別
年代別
広島地方生活圏
備後地方生活圏
備北地方生活圏
男性
女性
20～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～69歳
70歳以上
10.4
10.8
14.7
11.0
10.3
10.4
9.3
9.9
12.3
11.9
8.7
2.7
0.8
2.2
2.9
1.4
5.7
1.9
2.5
2.7
1.1
0.6
0.5
1.5
0.4
0.8
0.1
0.6
0.4
3.0
1.0
1.6
1.1
0.7
1.6
2.7
0.9
0.7
1.5
2.3
3.9
4.2
5.1
4.5
3.5
3.5
1.0
1.9
3.8
4.7
10.9